



# 1 磯の生物観察(磯ビンゴ)

青森県立種差少年自然の家



## ○活動の概要○

岩場で磯にすむ生物を探して観察します。見つけた生物を使ってビンゴを楽しむこともできます。

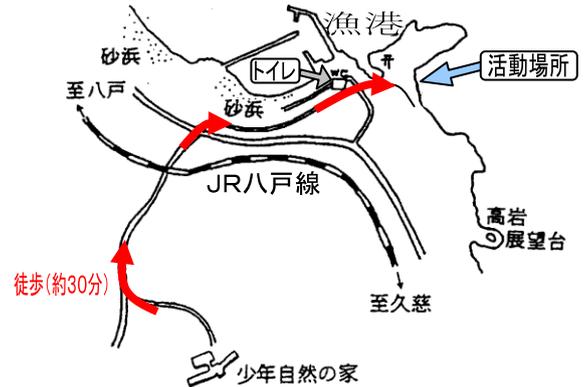
### 1 ねらい

磯にすむ生物の様子にふれ、生き物の不思議と自然の大切さを知ること、生命を尊重する心を育みます。

(小学校 理科 中学校 理科)

### 2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所 八戸南浜漁港(種差・法師浜地区)奥の磯
- 人数 200人以内(1グループ6~8人程度)
- ② 期間 4月~10月
- ③ 時間 2~3時間(徒歩で片道30分程度)



### 3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

### 4 準備物

区分	準備物	備考
団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレトペーパー</li> <li>・緊急車両</li> </ul> ※必要に応じて熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレにトイレトペーパーはありません。</li> </ul>
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬれてもよい運動靴</li> <li>・タオル、軍手、帽子</li> </ul> ※必要に応じて雨具(雨合羽等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長靴、サンダルは危険です。</li> </ul>
自然の家	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆無線機とスローロープ</li> <li>・ハンドマイク、説明用資料</li> <li>・磯ビンゴセット (バケツ1、ざる1、クリアケース1、バット1 ビンゴ用シート1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆スローロープは必ず持っていられます。</li> <li>☆緊急連絡用として、無線機を持っていられます。</li> <li>・24セットまで</li> </ul>

### 5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。</li> <li>・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。</li> </ul>
安全管理係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これ以上行くと危険だと思われる場所に、スローロープを持って立つ。</li> </ul>
救護係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の救護、搬送にあたる。</li> </ul>

## 6 活動の流れ

- ① 物品の借用・移動
- ② 活動説明（代表責任者）
- ③ 生物の採取・分類
- ④ 生物を海へ返す
- ⑤ まとめ・移動
- ⑥ 自然の家で物品を洗って返却 ※必要に応じて靴をすすぎ、足を洗う。

## 7 その他

- ・潮汐表で磯の状態を確認してください。干潮の 때가活動に適しています。
- ・ウォークラリーと合わせて実施することもできます。
- ・説明用資料で、海の生物について学習することもできます。

### 《資料》 磯ビンゴ

- ① 採取した生物を分類するときに使う。
- ② 磯ビンゴ用シートをバットにしく。
- ③ ビンゴゲーム形式で楽しみ、磯の生物に親しむ。

#### 磯ビンゴ用シート（例）

カニ（メス）  腹の横幅が広い	海藻 	ヤドカリ 
ヒトデ 	二枚貝 	魚かアメフラシ 
ウニ 	カニ（オス）  腹の横幅がせまい	巻貝 